

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	デジタル式同報系防災行政無線整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	地震や風水害などの自然災害や武力攻撃などの緊急事態の場合、市民等へ迅速かつ確実に情報を伝達するため、屋内で災害時の緊急情報等を受信できる防災ラジオの普及を図る。 なお、市内全域におけるデジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局の拡充整備は、平成27年度完了した。
-------	---

3年度概要	防災ラジオ難聴地対策 デジタル式同報系防災行政無線整備工事設計・監理業務委託 アナログ式同報系防災行政無線撤去工事（繰越） アナログ式同報系防災行政無線撤去工事 デジタル式同報系防災行政無線整備工事				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	災害時には市民への多様な情報伝達手段が必要であることから、その手段の一つが確保され、災害情報伝達の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
各年度における防災ラジオ整備進捗率	%	76.4	80.3	84.8		100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
防災ラジオ普及率	%	目標値	68.3	79.5	100		100
		実績値	76.4	80.3	84.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標としていた防災ラジオ普及率の84.8%を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 84.8% 29点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	133,424	49,919	27,729	43,299
（事業費）	[円]	126,358	42,332	20,923	36,493
（職員人件費）	[円]	7,066	7,587	6,806	6,806

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年度は、計画通り同報系防災行政無線の撤去工事を実施する予定であったが入札による不調のため平成31年度へ事業を繰越した。平成31年度は、早期に業者決定を行い当該工事を迅速に行っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

防災ラジオについては、平成31年度まで目標に沿って普及啓発に努め、合わせて、難聴地域への有効な対策を検討していく。また、デジタル式同報系防災行政無線整備については、繰越事業は速やかに完了させるとともに、アナログ式防災行政無線の撤去工事等を行っていく。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	財産経営課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2255
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	防災合同庁舎整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害等発生時の的確な初動体制を確保するとともに、市民に適切な情報を提供し、震災などに迅速かつ総合的に対応する危機管理体制を構築するため、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局、香川県広域水道企業団等を配置し、これらが密接に連携することにより24時間体制で適切な災害対応を行う「高松市防災合同庁舎（危機管理センター）」を、本庁舎西側に整備する。
-------	--

3年度概要	
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター） 旧呼称：高松市危機管理センター（仮称）等
意図（どのような状態にしたいか）	本市の防災対応の中核拠点として、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課、消防局、下水道部、情報政策課、香川県広域水道企業団を配置した施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	53.8	88.5	100		100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
危機管理センター（仮称）等施設整備進捗率	%	目標値	47	95	100		100
		実績値	41.5	95	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 建物工事について、当初予定どおり完了し、平成30年2月に施設の竣工を迎えた。 関係部署の移転について、当初予定どおり完了し、平成30年4月より、香川県広域水道企業団が業務を開始し、4月24日に落成式を挙行した後、5月21日から全ての部署で業務を開始し、庁舎の本格運用を開始した。 （目標達成度）							（達成度） 100.0% 35点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,274,755	7,202,157	961,808	
（事業費）	[円]	1,229,219	7,148,289	908,118	
（職員人件費）	[円]	45,536	53,868	53,690	

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

様々な自然災害や緊急事態の発生時において、本市の防災・危機管理に係る対応力と業務維持能力を高め、災害等に迅速・効果的に対応できる体制を構築し、市民への災害情報の伝達と避難体制を確立する「安全・安心のまちづくり」の中核施設として整備した。常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局、香川県広域水道企業団、下水道部などを配置し、これらが密接に連携することにより、24時間体制で適切な災害対応を行うことが可能となる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

防災合同庁舎の機能が継続して発揮できるように、施設管理に係る各種委託契約を締結及び施設状況の把握に努め、施設の維持管理を図る。

平成30年度(30年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	防災IoT利活用事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	近い将来、発生が確実視される南海トラフや、全国各地で発生する風水害から、市民の生命及び財産を守るために、水防計画上の観測地点に水位センサーや潮位センサーを設置するなどし、共通プラットフォーム上でデータの収集や分析等を行い、災害発生時の迅速な対応に活用する。 また、潜水橋の冠水状況や道路の通行止め情報、停電情報など、災害発生時の減災、復旧・復興に必要な様々な他のデータについても収集・分析を検討し、より効率的・効果的で迅速な災害対応が行う。
-------	---

3年度概要	防災WEBカメラ等保守委託等 防災IoTの拡充
-------	----------------------------

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理
--------	------	----------	---------	--------------

【事業の目的】

対象(何を)	災害対応に従事する本市職員、高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	災害の発生予防や災害応急対策等について、あらゆる防災IoTを活用し、効率的・効果的で迅速な災害対応が行えるようにする。 また、災害に関する情報をオープンデータ化することで市民に情報を提供し、迅速な防災行動を促す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
カメラやセンサーなどの設置箇所数	箇所				10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		水防本部等設置時の共通プラットフォームへのアクセス件数	件/日	目標値				500
	実績値							
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]			1,512	29,221
(事業費)	[円]				21,659
(職員人件費)	[円]			1,512	7,562

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

河川、海岸部の画像データ及びアンダーパス冠水情報を収集し、高松市ダッシュボードへのデータ表示の一元化を実現すべく、庁内検討を十分に行った後、適正な提案公募により業者選定を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

平成31年度は、昨年度行った提案公募により決定した業者と契約を行い、委託業務を完了させる。業務完了後は、効果的な運用を行い、より迅速な対応による市民の安全確保のため、更なる防災IoT利活用の拡張を模索する。
